

# RESERVATION DATA PROCESSOR

**Publication number:** JP6208577 (A)

**Publication date:** 1994-07-26

**Inventor(s):** NAKAHORI HISAHIDE +

**Applicant(s):** CASIO COMPUTER CO LTD +

**Classification:**

- **international:** *G06K19/00; B65G61/00; G06Q30/00; G06K19/00; B65G61/00; G06Q30/00;* (IPC1-7): G06F15/26; G06K19/00

- **European:**

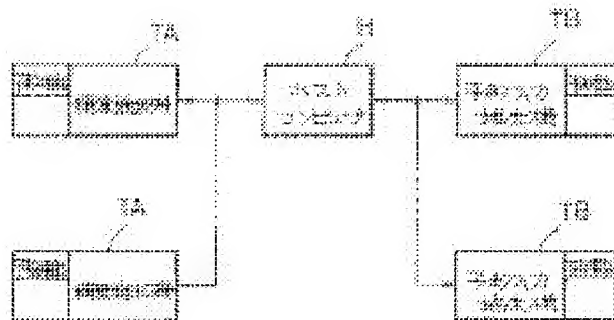
**Application number:** JP19900417653 19901229

**Priority number(s):** JP19900417653 19901229

## Abstract of JP 6208577 (A)

**PURPOSE:**To perform charge adjustment processing, etc., by confirming reservation contents by utilizing a card type storage medium.

**CONSTITUTION:**Each reservation input terminal machine TA installed at a theater ticket agency, etc., issues a prepaid card by writing reservation data and initial card balance on the prepaid card. The host computer H at a center stores reservation states regarding prepaid cards issued at respective reservation input terminal machines TA and transfers them to clearing terminal machines TB at respective event halls, etc., on the day of an event. The clearing terminal machines TA at the halls, etc., reads the reservation data out of the inserted prepaid cards and then performs charge adjustment processing, etc., based upon the card after checking whether or not



the prepaid card is a prepaid card  
issued for the event, etc.

---

Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

## Family list

1 application(s) for: **JP6208577 (A)**

### 1 **RESERVATION DATA PROCESSOR**

**Inventor:** NAKAHORI HISAHIDE

**Applicant:** CASIO  
COMPUTER CO LTD

**EC:**

**IPC:** *G06K19/00;*  
*B65G61/00; G06Q30/00;* (+5)

**Publication** **JP6208577 (A)** - 1994-07-26 **Priority Date:** 1990-12-29  
**info:**

---

Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-208577

(43)公開日 平成 6年(1994) 7月26日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/26		8724-5L		
G 0 6 K 19/00		8623-5L	G 0 6 K 19/ 00	V

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平2-417653

(22)出願日 平成 2年(1990)12月29日

(71)出願人 000001443

カシオ計算機株式会社

東京都新宿区西新宿 2 丁目 6 番 1 号

(72)発明者 中堀 久秀

東京都西多摩郡羽村町栄町 3 丁目 2 番 1 号

カシオ計算機株式会社羽村技術センター  
内

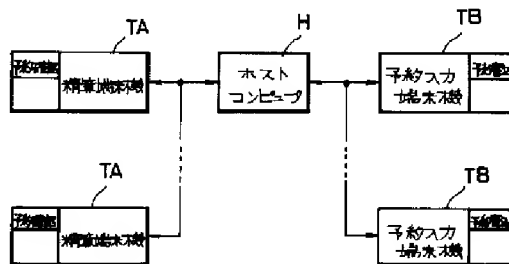
(74)代理人 弁理士 杉村 次郎

(54)【発明の名称】 予約データ処理装置

(57)【要約】

【目的】 カード状記憶媒体を活用して予約内容を確認し代金精算処理等ができるようにする。

【構成】 プレイガイド等に設置された各予約入力端末機 T A は、プリペイドカードに対して予約データと初期のカード残高を書込んでプリペイドカードを発行する。センターのホストコンピュータ H は、各予約入力端末機 T A にて発行されたプリペイドカードに関する予約状況を記憶し、各イベント会場等の精算端末機 T B にイベント当日等に転送する。会場等の精算端末機 T B は、挿入されたプリペイドカードから予約データを読み出し、当該イベント等のために発行されたプリペイドカードであるか否か等をチェックした後、カードに基づく代金精算処理等を行う。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 発行されたカード状記憶媒体に記録された予約データを記憶する記憶手段と、  
カード状記憶媒体から予約データ、及び金額データを読取る読取手段と、  
この読取手段にて読取られた予約データが上記記憶手段に記憶されているか否かを判別する判別手段と、  
この判別手段にて予約データが記憶されていると判別された際、上記読取手段にてカード状記憶媒体から読取られた金額データに基づいて所定の処理を行う処理手段と、  
を備えたことを特徴とする予約データ処理装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【産業上の利用分野】**この発明は、カード状記憶媒体を活用して予約に関する処理を行う予約データ処理装置に関する。

**【0002】**

**【従来の技術】**近年、プリペイドカードが各方面で盛んに活用されるようになってきた。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】**しかし、従来のプリペイドカードは、料金先払を証明する手段としてのみ活用されており、イベント、ホテル、レストラン、列車等の予約を証明する手段としては活用することが出来なかった。

**【0004】**これは、プリペイドカード（カード状記憶媒体）では予約内容を確認することが出来ないことに起因する。

**【0005】**してみれば、カード状記憶媒体を活用して予約内容を確認し、予約が正当であればプリペイドカード本来の代金精算処理等の所定処理を行うようにすれば、上記の問題を解決できることは明らかである。

**【0006】**この発明の課題は、カード状記憶媒体を活用して予約内容を確認し、所定処理が出来るようにすることである。

**【0007】**

**【課題を解決するための手段】**この発明の手段は次の通りである。記憶手段a（図1の機能ブロック図を参照、以下同じ）は、発行されたカード状記憶媒体に記録された予約データを記憶する。読取手段bは、カード状記憶媒体から予約データ、及び金額データを読取る。判別手段cは、読取手段bにて読取られた予約データが記憶手段aに記憶されているか否かを判別する。処理手段dは、判別手段cにて予約データが記憶されていると判別された際、読取手段bにてカード状記憶媒体から読取られた金額データに基づいて所定の処理を行う。

**【0008】**

**【作用】**この発明の手段の作用は次の通りである。今、記憶手段aは、発行されたカード状記憶媒体（プリペイ

ドカード）に記録された予約データ（予約に係るイベント等の代金を含む）のすべてを記憶しており、読取手段bにより或るプリペイドカードから予約データ、及び金額データ（カード残高）が読取られたものとする。すると、判別手段cは、読取手段bにて読取られた予約データが記憶手段aに記憶されているか否かを判別する。この結果、予約データが記憶されていると判別されたとする。すると、処理手段dは、読取手段bにてプリペイドカードから読取られたカード残高に基づいてカードによる代金精算処理等の所定処理を行う。従って、カード状記憶媒体を活用して予約内容を確認し所定処理ができる。

**【0009】**

**【実施例】**以下、一実施例を図2ないし図7を参照しながら説明する。

**【0010】**図2は予約管理システムのシステム構成図であり、センターに設置されたホストコンピュータHには、各地のプレイガイド等に設置された複数台の予約入力端末機TA、各コンサート会場等に設置された複数台の精算端末機TBが接続されている。予約入力端末機TAは、予約情報を記録したプリペイドカードを発行する機能を有し、精算端末機TBはプリペイドカードに記録された予約情報の正当性をチェックして予約内容に基づく代金精算（売上登録）処理を行う機能を有し、ホストコンピュータHは、予約入力端末機TA、精算端末機TBでの処理に応じて変化する予約状況を管理する機能を有している。

**【0011】**ホストコンピュータHには、各種カードメモリM1、予約状況メモリM2、予約種別ジャーナルメモリM3が形成されている。

**【0012】**各種カードメモリには、図3（a）に示したように、予約入力端末機TAにより発行されるプリペイドカードCがどのイベントに適用できるものであるかを示す情報として、Aコンサート、Bコンサート等のイベント名とそのイベントを識別するためのイベントコードが記憶されている。

**【0013】**予約状況メモリM2には、図3（b）に示したように、各イベント別に予約タイプNo、一連No、定員数、料金が記憶されている。なお、図示した予約タイプNo“123456”、“123457”は、夫々A席、B席を示し、一連Noはタイプ別の現在の予約数を示しており、この一連Noは、予約入力端末機TAにより該当するプリペイドカードCが発行される毎に更新される。この予約状況メモリM2の内容は、予約入力端末機TAに伝送され、プリペイドカードCの発行に利用される。

**【0014】**予約種別ジャーナルメモリM3には、図3（c）に示したように、各イベント別に予約タイプNo、一連Noが記憶される。これらデータは、予約入力端末機TAによりイベント用のプリペイドカードCが発

行される毎に記録され、例えばイベント開始当日等の所定の時期に精算端末機TBに伝送される。そして、該当のデータが記録されたプリペイドカードCを利用して顧客が入場した場合には、予約種別ジャーナルメモリM3の該当データはクリアされる。

【0015】予約入力端末機TAと精算端末機TBの構成要素は同一であり、図4に示したように、CPU1、ROM2、入力部3、RAM4、表示部5、プリンタ6、カードリーダー/ライタ7、モデム8等により構成されている。また、本実施例で使用されるプリペイドカードCの磁気ストライプMには、図5に示したように、カード残高を記憶する残高エリアE1の他に予約データを記録するための予約エリアE2が形成されている。そして、予約エリアE2には、上記イベントコード、予約タイプNo、一連No、イベントの料金が記録される。このうち、イベントコードはカード作製時にプリセットされ、予約タイプNo、一連No、イベントの料金は、予約入力端末機TAにより書込まれる。

【0016】予約入力端末機TAのCPU1は、ROM2にプリセットされたプログラムに従って、入力部3から入力された予約データ等をRAM4に登録する、表示部5に表示する、プリンタ6にて印字する、カードリーダー/ライタ7によりプリペイドカードCに記録する等の処理を制御する。この際、CPU1は、モデム8を介してホストコンピュータHに現在の予約状況を問い合わせる。

【0017】精算端末機TBのCPU1は、ROM2にプリセットされたプログラムに従って、カードリーダー/ライタ7を介してプリペイドカードCから予約データを読み出し、その予約データがホストコンピュータHに記録されているか否かをチェックし、登録されている場合には、所定の代金精算処理を行う等の処理を制御する。

【0018】次に、予約入力端末機TAによるカード発行動作を説明する。

【0019】予約入力端末機TAのCPU1は、予約タイプNoの入力を待ち(図6のステップS1)、予約タイプNoが入力されると、ホストコンピュータHに対して予約状況メモリM2内のその予約タイプNoの予約状況を問い合わせる(ステップS2)。この場合、ホストコンピュータHは、問い合わせに係る予約タイプNoの一連Noが定員数未満であれば、その一連Noをプラス1更新してその更新に係る一連Noと対応の料金を、定員数に達しているときは満員情報を問い合わせ元の予約入力端末機TAに返信する。そこで、問い合わせ元の予約入力端末機TAでは、次に、ホストコンピュータHからの返信内容を判別する(ステップS3)。その結果、満員情報であればエラー処理を行って(ステップS4)、終了する。一方、一連Noと料金が返信されたときは、プリペイドカードCがカードリーダー/ライタ7に挿入されるのを待つ(ステップS5)。そして、プリペイドカードC

が挿入されると、そのプリペイドカードCの予約エリアE2にプリセットされているイベントコードを読み出し、ステップS1にて入力された予約タイプNoに対応するイベント用のプリペイドカードCであるか否かをチェックする(ステップS6)。その結果、別のイベント用のプリペイドカードCであれば、ステップS4に進んでエラー処理を行う。対応のイベント用のプリペイドカードCであれば、そのプリペイドカードCの予約エリアE2に入力に係る予約タイプNo、及び返信に係る一連Noと料金を書込み、残高エリアE1には料金より所定の割合だけ高額の初期残高を書込む(ステップS7)。この場合、顧客からは料金分の代金だけをプリペイドカードCの代金として徴収することにより、初期残高の差額をプレミアムとする。例えば、Aコンサートの料金4500円のA席を予約した場合には、予約エリアE2には4500円を書込み、残高エリアE1には5000円を書込んで、プリペイドカードCの代金としては4500円を徴収することにより、実質的に5000円分の飲食品等を無料で購入できるようにする。

【0020】次に、プリペイドカードCへの書込みが正常に行われたか否かをチェックし(ステップS8)、書込みが正常でなければステップS7に戻って再度書込みを行い、書込みが正常であれば終了する。

【0021】このようにして、プリペイドカードCには、イベントコード、予約タイプNo、一連No、料金等の予約データが記録される。

【0022】次に、精算端末機TBの動作を説明する。

【0023】精算端末機TBのCPU1は、まず、プリペイドカードCがカードリーダー/ライタ7に挿入されるのを待つ(図7のステップS21)。そして、プリペイドカードCが挿入されると、それからイベントコードを読み出して、当該精算端末機TBが設置されている会場で行われるイベント用のプリペイドカードCであるか否かを判断する(ステップS22)。その結果、当該イベント用のプリペイドカードCでないときは、エラー処理を行って(ステップS23)、終了する。当該イベント用のプリペイドカードCであれば、予約データが記録されているか否かを判断する(ステップS24)。予約データが記録されておれば、イベントの料金をカード残高から減じて(ステップS25)、残高の有無を判断する(ステップS26)。その結果、残高がなければマイナス分を現金支払い分として表示して(ステップS27)、ステップS28に進む。このようにカード残高の有無をチェックすることにより、同一カードを不正に複数回使用するのを防止することが可能になる。なお、ステップS24にて予約データが記録されていないと判断されたときはステップS23に進んでエラー処理を行い、ステップS26にて残高が残っていると判断されたときは、ステップS27をスキップしてステップS28に進む。

【0024】ステップS28では、プリペイドカードCに記録されている予約タイプNo、一連Noを表示、或いは印字する。次に、予約種別ジャーナルメモリM3の該当のデータをクリアする(ステップS29)。そして、予約タイプNo、一連No、イベント料金等の予約データに基づいて料金精算(売上登録)処理を行うと共にカード残高をプリペイドカードCに書込む(ステップS30)。そして、書込みが正常に行われたか否かをチェックし(ステップS31)、正常に書込まれていないときは、ステップS30に戻って再度書込みを行う。カード残高が正常に書込まれたときは終了する。

【0025】このように、予約データが書込まれたプリペイドカードCに基づいて、予約に係る売上登録処理が自動的に実行される。

【0026】なお、ステップは省略したが、プレミアム分に基づく登録処理は、通常のプリペイドカードCによる登録処理と同様の手法で実行される。

【0027】また、イベントの料金は必ずしもプリペイドカードに書込む必要はなく、精算端末機TBに記憶しておいてもよい。また、各種イベントの予約の他、ホテル、レストラン、列車等の予約に適用することも可能である。更に、プリペイドカード以外のカード状記憶媒体にも適用可能であり、ホストコンピュータH、予約入力端末機TA、精算端末機TBの機能を1台のデータ処理装置で実現してもよい。

【0028】

【発明の効果】この発明によれば、カード状記憶媒体を

活用して予約内容を確認でき、予約証明書を手書きしたり、予約内容を人間が確認したりする必要がなくなり、正確かつ迅速に予約に関する作業を遂行することが可能となり、予約確認後は代金精算処理が行なわれ、一連の処理が一回で実行できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の機能ブロック図である。

【図2】実施例のシステム構成図である。

【図3】ホストコンピュータの記憶内容を示す図である。

【図4】予約入力端末機、及び精算端末機のブロック構成図である。

【図5】プリペイドカードのデータ内容を示す図である。

【図6】予約入力端末機の動作を示すフローチャートである。

【図7】精算端末機の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

H ホストコンピュータ

TA 予約入力端末機

TB 精算端末機

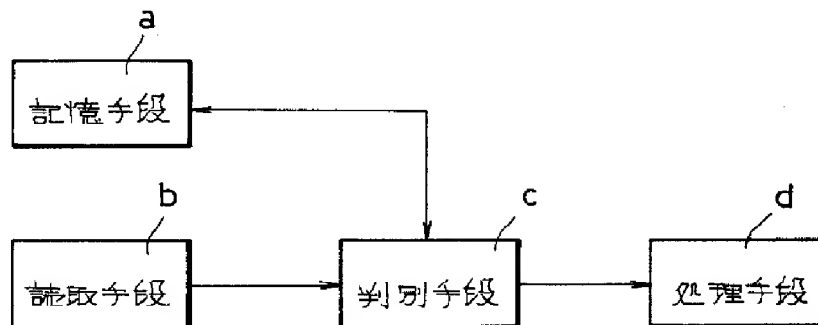
C プリペイドカード

1 CPU

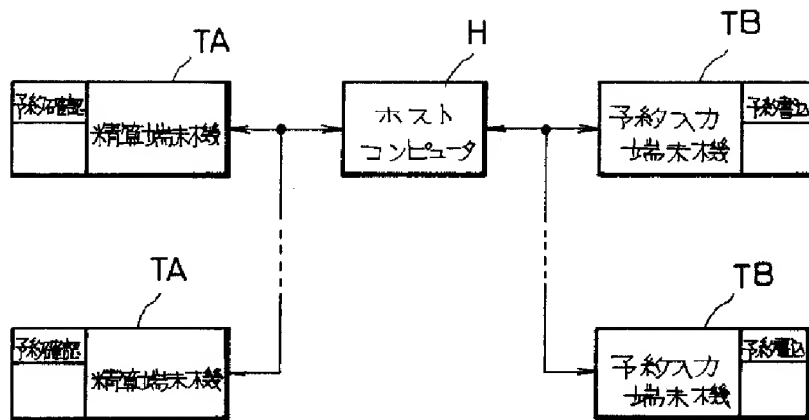
3 ROM

7 カードリーダー/ライタ

【図1】



【図2】



【図3】

【図3c】

【図3a】

M2

予約 NO	予約タイプNO	一連 NO.	定員数	料金
1	123456	000003	100	4500
2	123457	000108	200	3800

【図3b】

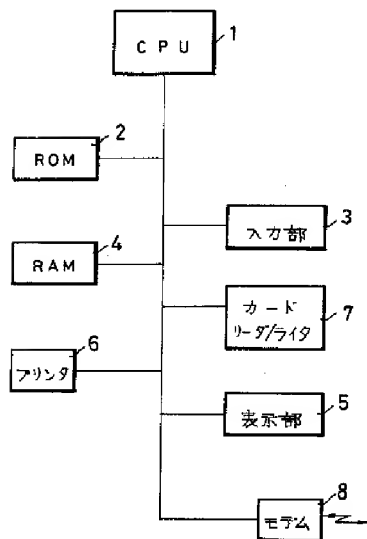
M1

イベントコード	イベント名
111111	Aコンサート
111110	Bコンサート

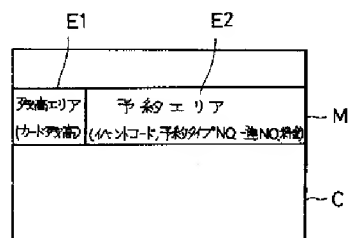
M3

予約 NO	イベントコード	予約 NO.	
		予約タイプNO.	一連 NO.
001	111111	123456	000001
002	111111	123456	000002
003	111111	123456	000003
007	111111	123457	000107
008	111111	123457	000108

【図4】

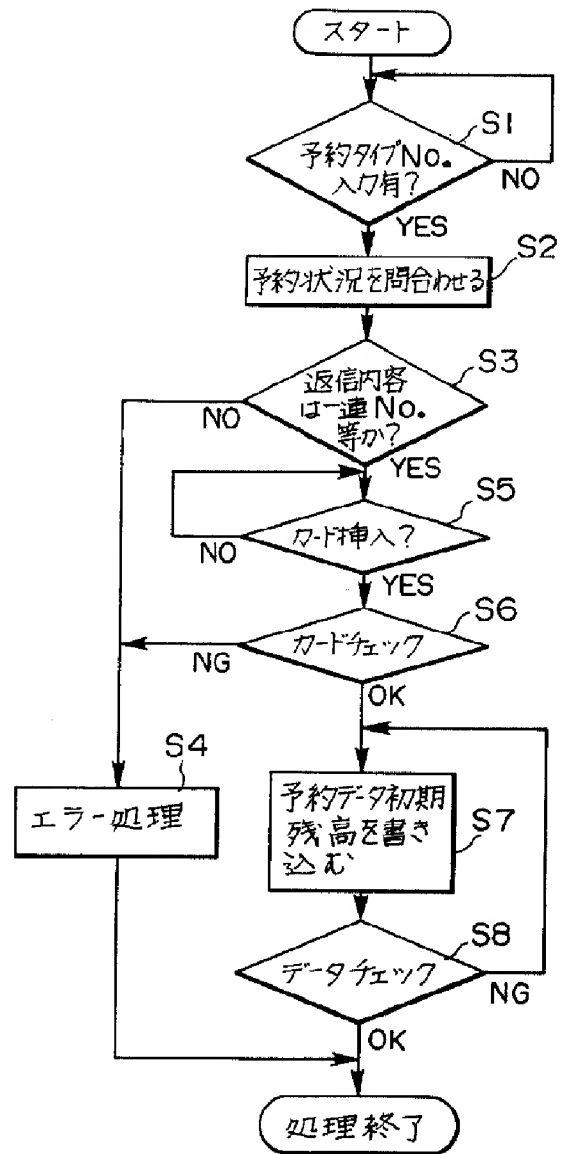


【図5】

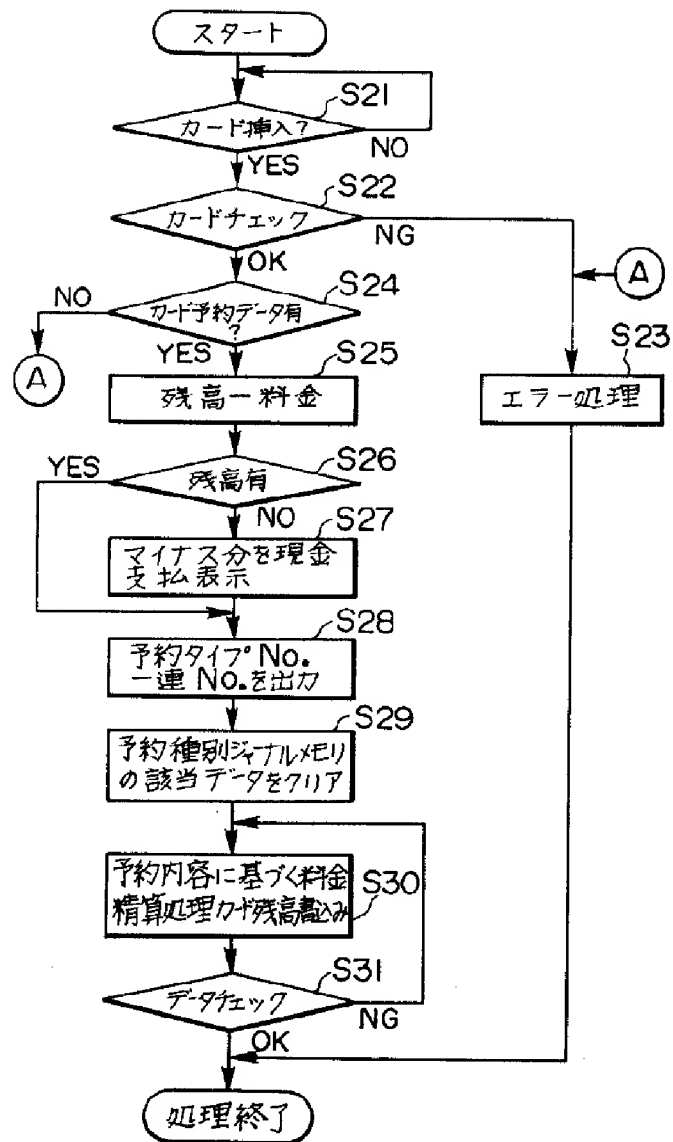




【図6】



【図7】



【手続補正書】

【提出日】平成5年12月3日

【手続補正1】

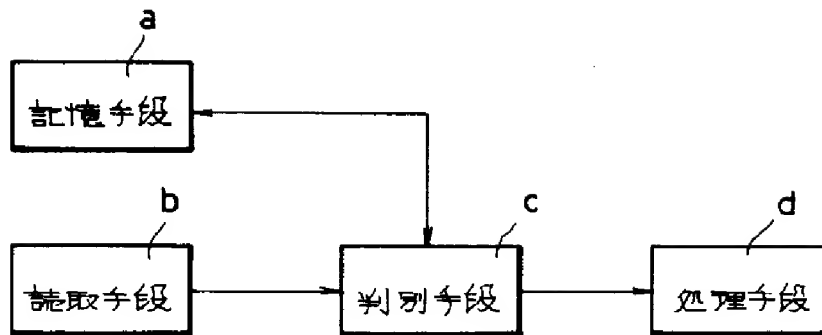
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

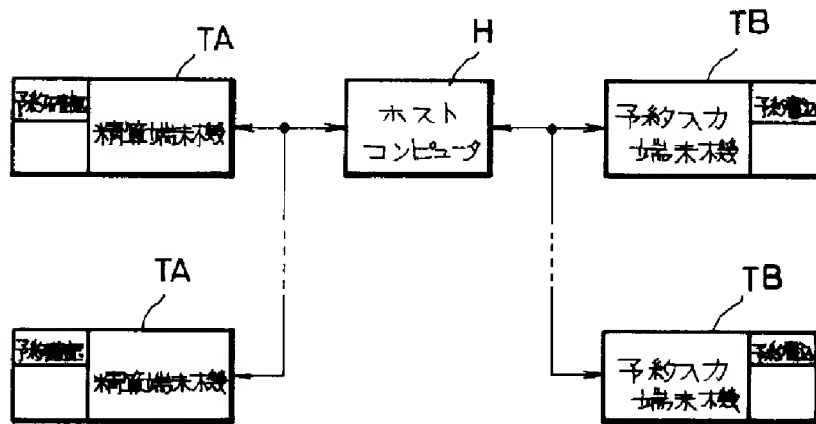
【補正方法】変更

【補正内容】

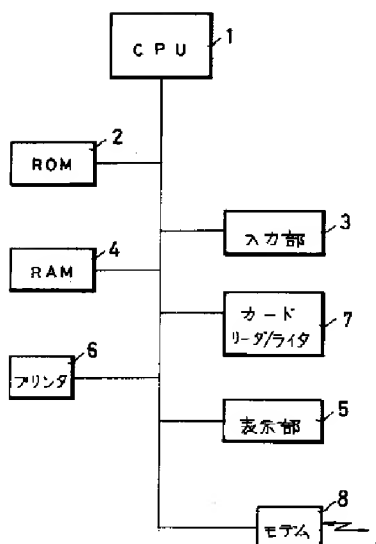
【図1】



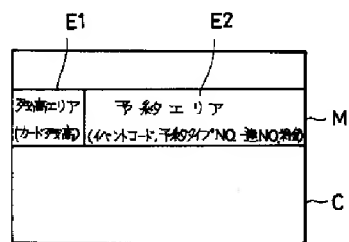
【図2】



【図4】



【図5】



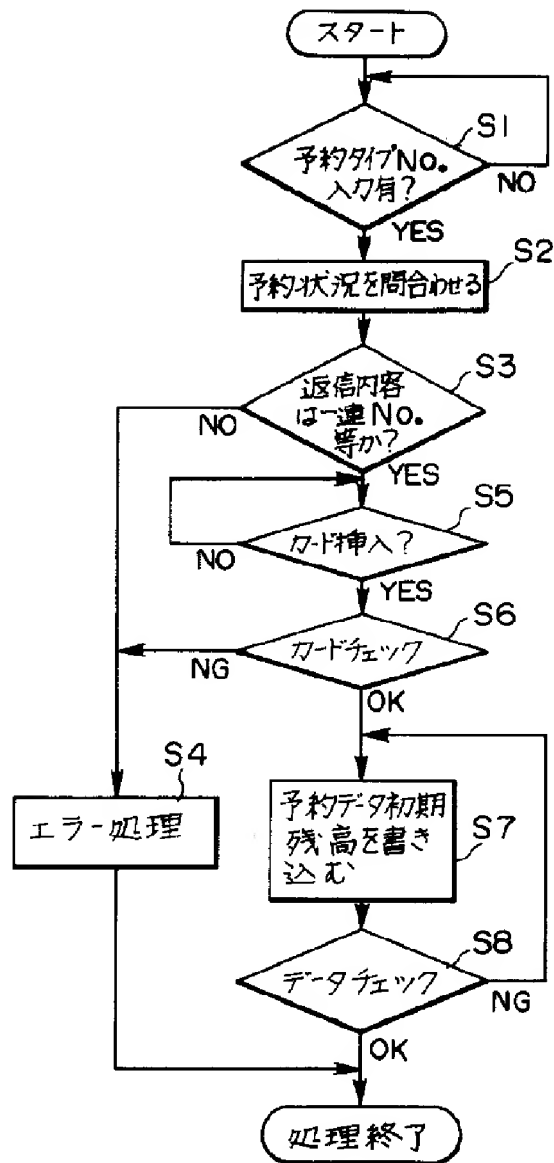
【図3】

(a) M2					(b) M1	
予約 NO.	予約タイプNO.	一連 NO.	定額数	料金	イベントコード	イベント名
1	123456	000003	100	4500	111111	Aコンサート
2	123457	000108	200	3800	111110	Bコンサート

(c) M3			
予約 NO.	イベントコード	予約 NO.	
		予約タイプNO.	一連 NO.
1	111111	123456	000001
2	111111	123456	000002
3	111111	123456	000003
4	111111	123457	000107
5	111111	123457	000108

【図6】



【図7】

